

原

文

日清戦争後の日本の対外政策について、誤解するおそれのある表現である。

こうして、日本は、朝鮮を足場にして中国の東北地方(満州)に勢力をのばす機会をうかがうようになった。アジアの大国となった日本には、中国や朝鮮などから留学生がきたが、国民のあいだには、朝鮮人や中国人を見下す考えも広まっていった。

修

正

文

日清戦争は、近代日本にとっては初めての対外戦争だった。戦争の勝利でアジアの大国となった日本には、中国や朝鮮などから留学生がきたが、国民のあいだには、中国人や朝鮮人を見下す考えも広まっていった。いっぽう、ロシアは、中国の東北地方(満州)に重大な関心をいだいていた。